

基本目標 1 地域の基幹産業を守り育て、強化するとともに新たな産業と雇用の場を作る

現状と課題	①町内事業者・企業が人材の確保に苦労している。 ②特産品や既存商品の魅力を伝えきれておらず、知名度が低い。 ③観光施設と繋がる公共交通機関。 ④起業や企業誘致に繋がる本町の特性やニーズを適切に把握。 ⑤外国人労働者の職場環境や生活環境の整備、地域住民とのコミュニティの形成
基本的方向 (旧)	美幌町の基幹産業である農林業においては、地域資源を改めて見つめ直し、付加価値向上、新商品開発化や産業間連携による地域経済の更なる活性化を目指します。また、観光業においては、女満別空港への距離や道東地区の交通の要衝であることなど当町の地理的優位性を活かし、今ある地域資源を起点として、更に新たな魅力づくりや滞在型観光など経済波及効果を求めた観光施策に取り組みます。これらの産業の強化を通して、新たな就業者の獲得と雇用を創出するとともに雇用の安定化、地域経済の向上を図ります。同時に、意欲ある人材が美幌町において活躍できる環境整備に努めます。
基本的方向 (新)	①地域の雇用と経済を担う町内事業者が行う人材確保活動へ支援し、既存産業の強化や成長を促すことで、企業とともに歩む町づくりを目指します。 ②既存商品のブラッシュアップを行い、町内外に向け特産品や商品についての魅力を効果的に発信することで、美幌町の地域経済の更なる活性化を目指します。 ③観光業においては、観光資源の見直しを行いながら既存の観光事業の発展や新たな観光事業を展開することで、体験型・滞在型観光を推進するとともに、観光施設とつなぐ公共交通機関の整備を検討していきます。 ④現状の把握や美幌町に訪れる方の分析を行うなど、企業誘致や起業したい方の参考となる情報収集を行い、本町の特性をPRし、企業誘致や起業が増加することで、雇用の創出やまちなかのにぎわいを作り出します。 ⑤仕事を続けながら、安心して暮らせる環境整備や地域コミュニティの場を提供することで、地域の産業を支える人材である外国人労働者を受け入れる体制づくりを進めます。

(予想される施策ラインナップ)		担当課
	【施策 1 産業における経営の強化・人材の確保】	
	【施策 2 地域特産品の振興】	
	【施策 3 地域資源を活かした観光の推進】	
	【施策 4 起業支援・企業誘致】	
	【施策 5 外国人労働者を受け入れる体制づくり】	

基本目標 2 「びほろ」らしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す

現状と課題	①美幌町では、進学や就職を機に、特に10代後半から20代前半での転出が多くなっている。 ②町外に住み、美幌町へ通勤してくる方が、美幌町に住むことを検討できる環境づくり。 ③町民や町外者へ向けた魅力発信の手法について、従来の方法を見直し、目につきやすい情報発信の在り方を検討。 ④美幌高校への道内外からの入学者数の増加を目指し、生徒が美幌町で快適に過ごせる環境づくり。
-------	---

基本的方向 (旧)	美幌町における人口の社会増減は、ほとんどが北海道内の移動であり、中でも30代までの人口移動が多い状況となっています。特に20代の転出入が多いため、この世代を中心とした定住促進を図ることで、社会減少が抑制され、その後の人口の自然増加につながると考えられるため、若年から子育て世代を中心とした定住促進策を推進します。また、美幌町での暮らしやすさや魅力を全国各地に向けて発信し、新たな「ひと」の流れづくりを推進します。さらに、基幹産業である農林業と自衛隊駐屯地を抱える美幌町は、その特長と基盤を活かし、企業及び政府関係機関の誘致に努めることにより、人口減少の抑制対策にあたります。
基本的方向 (新)	①ひとを呼び込み・呼び戻すことを目的として、大学と地域間の交流を促進し学生に地域及び企業を知ってもらうことや、若者のニーズに沿った助成制度などの施策を検討することで、雇用創出及び若者の定着を図ります。また、移住定住者の金銭的負担の軽減を目的とした補助について検討を行い、本町に移住してくる方を増やし、社会増を目指します。 ②町外からの通勤者や、進学や就職を機に転出した若者が、結婚や出産を機に美幌町に戻ってくることを検討できるよう、情報発信を強化し、美幌町に住むということを選択してもらえるような取り組みや環境づくりを行います。 ③美幌町での暮らしやすさや魅力をsnsで効果的に発信し知名度向上を図り、美幌町に興味を持つ人を増やし、Uターンなど将来的な移住に繋がる「関係人口」の創出・拡大を推進します。 ④美幌高校の魅力を発信し道内外の生徒募集を推進し、人口減少の抑制を図ります。

(予想される施策ラインナップ)		担当課
	【施策 1 若者人口の増加】	
	【施策 2 移住・定住促進による転入数増加】	
	【施策 3 Uターン数増加を目指した取り組み】	
	【施策 4 SNS等を活用した魅力発信】	

基本目標3 このまちで出会い結婚し、子どもを産み育てたいという希望をかなえる

現状と課題	①結婚は望んでいても、出会いの場が少ないことや、仕事と子育ての両立の負担感、経済的な不安などにより結婚や子育ての将来展望が描けていないなど様々な背景がある。 ②会社によっては、休暇など制度としてはあるものの、日数が少ない場合や、職場や上司からの理解がなく、休暇を取りにくい雰囲気。 ③年齢の離れた子どもと一緒に遊ばせられる公園が少なく、学童に通っていない小学生の子どもが放課後に安心して過ごせる環境が少ない。 ④少子化が進み、各学校ではクラス数の確保ができていない。
-------	---

基本的方向 (旧)	美幌町は全国・北海道に比べて高い合計特殊出生率を誇っていましたが、人口規模が長期的に維持される水準である2.07を大きく下回る状況が続いています。しかし、アンケート調査における希望する子どもの数は、平均して2.5人となっており、実態と希望が合っていない状況となっています。そのため、妊娠から出産、保育に至るまでの子育て環境の整備や、教育環境全般にわたる施策の充実を図ることによって、美幌町で子どもを生み育てたいという環境づくりに取り組みます。また、結婚を望む男女の希望をかなえるため、出会いから結婚までのサポート体制を整えます。
基本的方向 (新)	①結婚を望む男女の希望を叶えるため交流の機会を創出し、出会いから結婚までのサポートを行います。また、安心して子どもを産み育てられるよう妊娠期から子育て期までの金銭面や精神面での、負担や不安を軽減させるような切れ目のない支援を推進します。 ②すべての働く方々が、働きながらも子育てしやすい環境づくりを整備するため、企業や事業者、従業員へ各種休暇や制度の活用を促進させるための意識啓発を行い、希望通りに働き続けられる柔軟な働き方を推進し美幌町で子育てしやすい環境を整備していきます。 ③子どもたちが元気いっぱいびのびと遊び過ごせる町となるよう、環境の整備を行います。 ④少子化に伴い各学校のクラス数が減少し、授業等によるグループの学び合いや切磋琢磨する機会が減るほか、学校行事では一定規模の集団形成の維持が難しくなっているため、施設一体型の学校による小中一貫教育を推進し、小中学校9年間を見通した切れ目のない教育の推進と質の高い持続可能な教育環境を確保します。

(予想される施策ラインナップ)		担当課
	【施策1 結婚、出産、子育て支援（高校生まで）】	
	【施策2 働きやすい職場環境の整備】	
	【施策3 子どもがのびのびと遊び過ごせる環境の整備】	
	【施策4 教育環境の充実】	

基本目標 4 住み続けたいと思える生活環境を整える

現状と課題	①住民同士のつながりが薄れるなど、地域活力が低下傾向にあるため、コミュニティの活性化。 ②女性がいきいきと活躍できる社会の形成。 ③行政が行っている取組を効果的に発信できておらず、取り組みや支援を理解している町民が少ない。 ④デジタル化を進める際に、デジタル技術導入に係る経費が高額な事や技術の指導をできる人材が少ないことがネックとなる。
-------	---

基本的方向 (旧)	美幌町が高い持続性・自立性をもって次世代につなげていくためには、住民にとって住み続けたいと思える生活環境が必要です。平成30年に実施した町民アンケートによると、年齢が下がるにつれて住みごちの良さの割合が下がる傾向にありました。とくに10代～30代までの若年層では8割を切る結果となっていることから、産官学等と若者が連携し、若者世代が将来を見据えた住みよいまちづくりを自ら考え、実践できる体制を整えます。地域や未来を担う「人づくり」と経済活性化による「しごとづくり」を好循環させる「まちづくり」を推進し、美幌町が全ての住民にとって住みよいまちとなることを目指します。
--------------	---

基本的方向 (新)	①少子高齢化や人口減少、地域活力の低下に歯止めをかけることを目的として、まずは町民自らまちへ出て、町民同士のつながりを強め、楽しむことが重要です。やる気のある町民が出会い、互いのスキルを活かして活躍できる環境の整備を行い、地域の活力向上を促します。また、健康づくりを推進し、生きがいと喜びを感じ、健康に暮らし続けられる地域づくりを進めます。 ②自らの希望により、働き続ける又はこれから働こうとするすべての女性が活躍できる社会を形成していくために、女性の活躍推進に取り組む企業や従業員の好事例、いわゆるロールモデルを発信することなどによって、女性が輝く社会づくりを推進していきます。 ③町民に向けた情報発信を強化し、行政が行っている取組や支援を広く周知していきます。 ④安心して生活できる環境を整え、地域や未来を担う「人づくり」と経済活性化による「しごとづくり」と利便性を向上させる「デジタル技術」を好循環させる「まちづくり」を推進し、全ての住民にとって住みよい町となることを目指します。
--------------	---

(予想される施策ラインナップ)		担当課
	【施策 1 町民が活躍できる環境の整備・健康に暮らし続けられる地域づくり】	
	【施策 2 女性が輝く社会づくり】	
	【施策 3 デジタルを活用した便利なまちづくり】	
	【施策 4 住環境の整備】	